



校長通信

令和6年度 8号 令和6年6月26日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

6月21日、気象庁は近畿、東海、関東甲信地方が「梅雨入りしたとみられる」と発表しました。平年より14～15日遅い梅雨入りだそうです。湿気が多く、洗濯物がなかなか乾きにくい季節です。また、梅雨前線が活発化すると大雨のおそれがあり、注意が必要です。

私は、この梅雨の時期があまり好きでないのですが、この時期に鑑賞できる好きな物があります。それは紫陽花です。先日、和歌山城「鶴の溪（つるのたに）」で、とても美しく咲いている紫陽花を見てきました。試合で負けて少し気分が落ち込んでいたところ、心が前向きになりました（試合の話、詳しくは後述）。



《1学期末テスト終了！》

6月24日～26日の3日間、期末テストでした。中間テストより期末テストの方が、試験科目が多く、たいへんだったと思います。特に、1年生は今回が初めての期末テストだったので、そう思った生徒も多かったのでは。

日頃から、授業で学んだことを家庭でしっかり復習する習慣をつけることが大切です。これからテスト返却がありますが、結果が良かったテストも含め、しっかり見直して次に生かしほしいと思います。とは言え、せっかくテストも終わったのだから、自分の趣味を楽しむなど、思いっきり遊んでほしいと思います。「よく学び、よく遊べ！」

運動部に所属している生徒は、間もなく、夏の大会が始まります。特に3年生は最後の大会。体調を整えて、しっかり練習に励み、悔いの残らない大会にしてほしいと願っています。

《国民スポーツ大会予選剣道の部に出場しました！》

6月16日、県下剣道年齢別選手権兼国民スポーツ大会予選に出場しました。国民スポーツ大会とは、かつて国体と呼ばれた国をあげてのスポーツの祭典ですが、その和歌山県代表を決める予選です。団体戦大将の部（55歳以上）に出場しました。1回戦、某剣道強豪大学出身者で、私より一つ年下の選手に、試合時間5分間フルタイム戦ったのですが、途中で面を打たれ、その後、取り返せず、敗退しました。私も、小手から面の連続技で、惜しい技を出したつもりですが、審判の旗が上がりませんでした。

今回、負けた原因は、もちろん相手が強かったのですが、自分自身、もっと捨て身になって技を出し切れていなかったところにあると反省しています。惑うことなく、ここというチャンスに捨て身の技が出せるよう、稽古に精進したいと思います。

「朝鍛夕練」…宮本武蔵五輪の書に曰く、千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を練とす。